



中華人民共和國國家發展改革委員會

National Development and Reform Commission

# 中国新エネルギー 自動車産業発展 全体状況

日付: 2016.11.25



1

発展背景

---

2

産業の現状

---

3

発展情勢

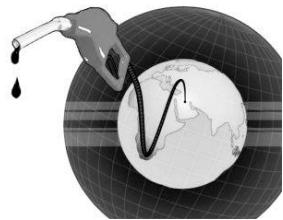
---



# 中国の新エネルギー自動車発展背景—全体背景

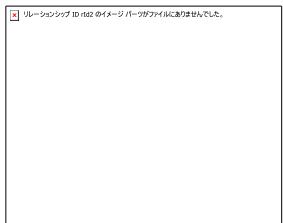
- 中国の新エネルギー自動車の発展は重要な戦略的意義を有する
- 電動自動車は新エネルギー自動車の発展と自動車産業の転換の主要戦略方向である。

## エネルギー危機



- 2015年石油輸入依存度はすでに60.6%に達し、61%のレッドラインに近づいている

## 世界競争



- 世界の主要自動車生産国は次々と準備を加速し、新エネルギー自動車の発展を国家戦略としている

## 産業転換

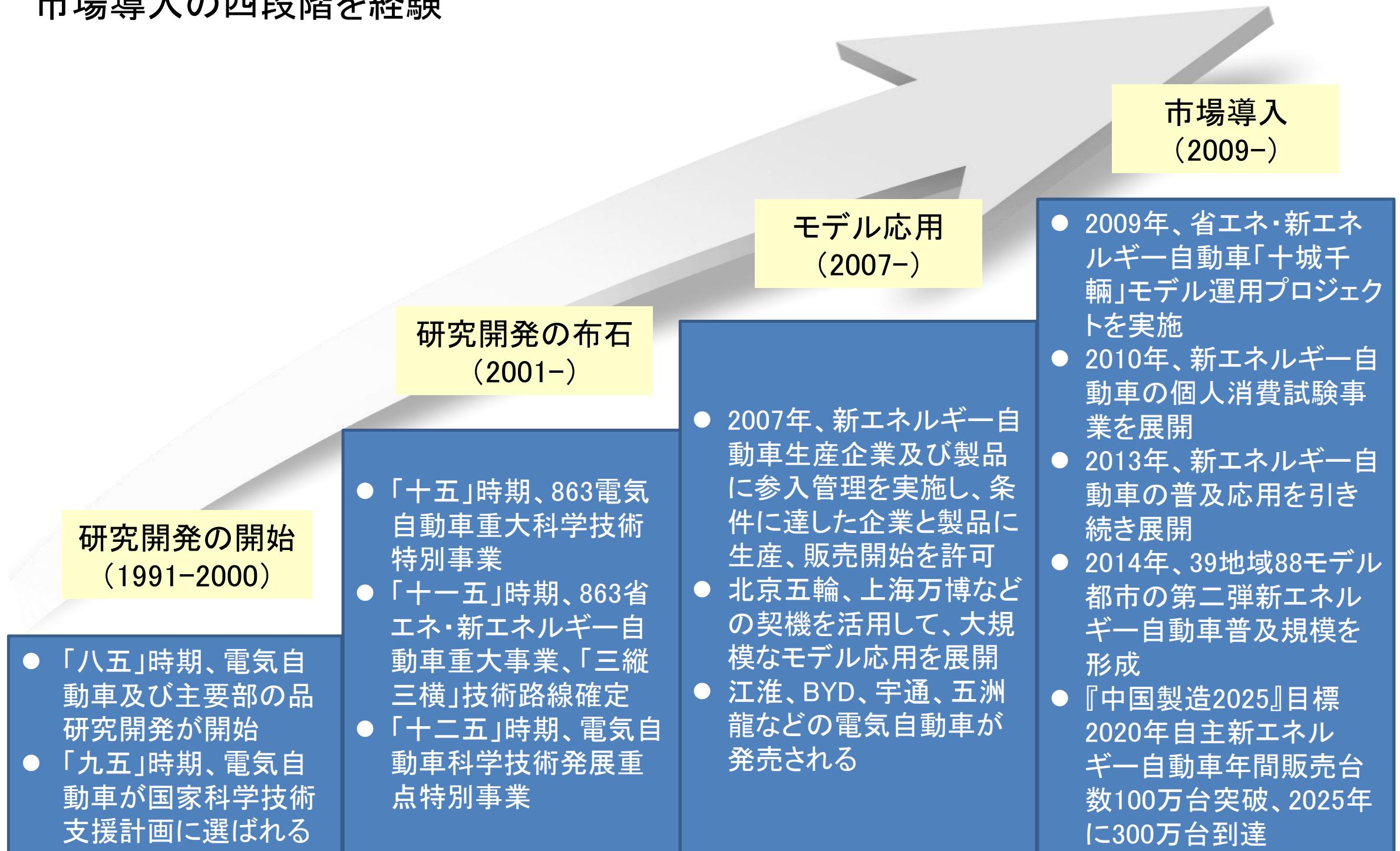


- 『国务院の戦略性新興産業の育成と発展の加速に関する決定』(2010年)は新エネルギー自動車を七大戦略性産業の一つに確定した
- 習近平総書記は、新エネルギー自動車の発展は中国が自動車大国から自動車強国に向かう必ずと通らなければならない道であると述べた



# 中国新エネルギー自動車発展背景—発展の歩み

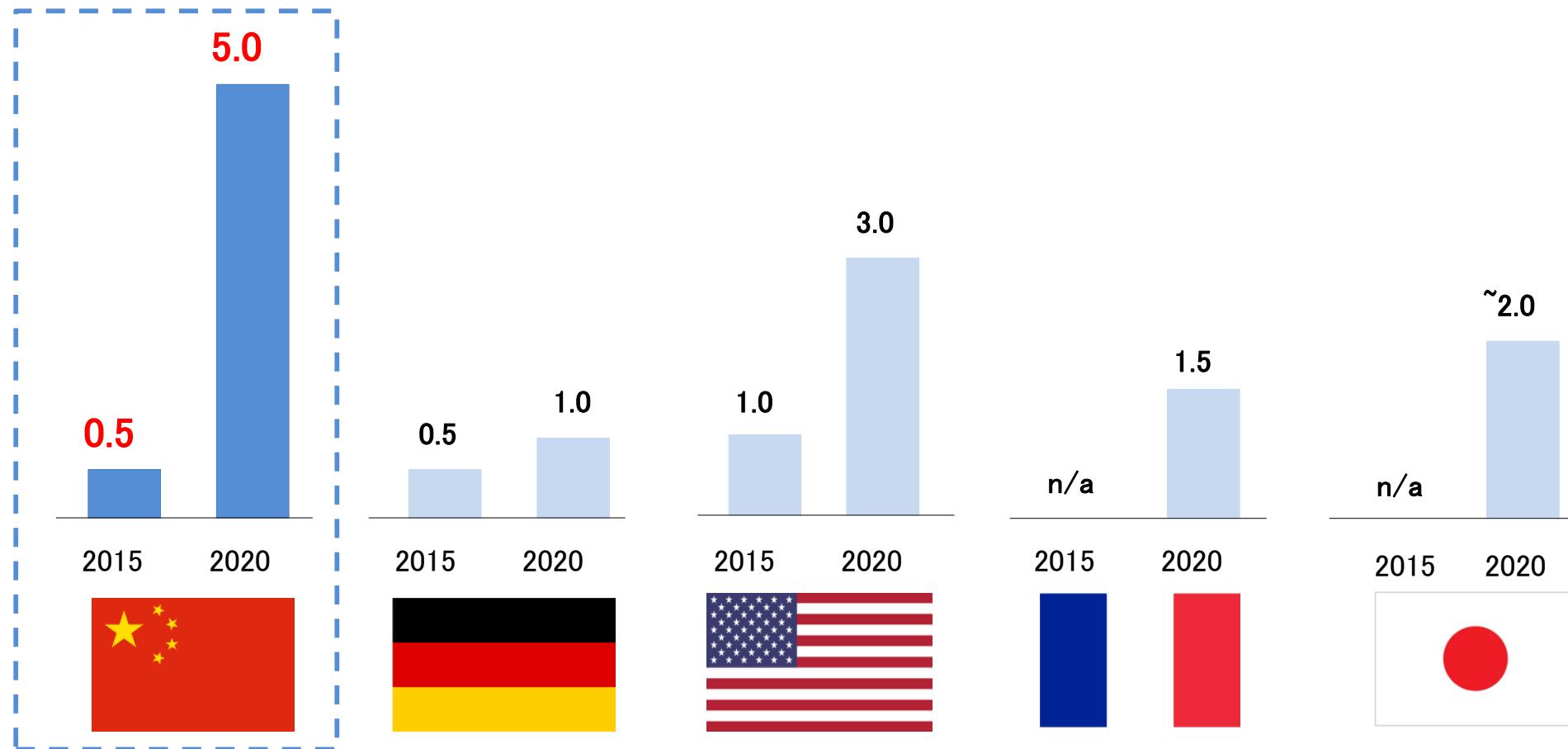
- 新エネルギー自動車産業の発展は研究開発の開始、研究開発の布石、モデル応用及び市場導入の四段階を経験





# 中国新エネルギー自動車発展背景—発展計画

- 中国政府は明確な新エネルギー自動車中長期発展目標を制定。2009年、中国は初めて新エネルギー自動車発展目標を発表し、2012年に発表した『省エネ・新エネルギー自動車発展計画(2012-2020年)』ではさらに強化し、明確化している。



各国政府の電気自動車/プラグインハイブリッド自動車発展目標(単位:百万台)



1

発展背景

---

2

産業の現状

---

3

発展情勢

---



# 中国新エネルギー自動車産業の現状—政策体系

- **中国政府は一連の政策を打ち出し、新エネルギー自動車の発展を支援。**近年、新エネルギー自動車産業の発展、技術、財政と税務、管理などの方面で初期の政策支援体系を確立し、研究開発、普及応用から産業化までの全産業チェーンをカバー。

## 国の主要支援政策

マクロ政策	財政・税務支援	技術研究開発	管理体系
『自動車産業の調整・振興計画』	『2016-2020年新エネルギー自動車普及応用に関する財政・税務支援政策』	『2014-2015年省エネ・排出削減科学技術特別事業アクションプラン』	『新規電気乗用車生産企業投資事業及び生産参入管理規定』
『省エネ・新エネルギー自動車産業発展計画(2012-2020年)』	『「十三五」新エネルギー自動車充電施設奨励政策及び新エネルギー自動車普及応用の強化に関する通知』	『産業主要基盤技術発展ガイドライン(2015年)』	『電気自動車駆動用バッテリー回収利用技術政策(2015年版)』
『新エネルギー自動車普及応用業務の継続展開に関する通知』	『新エネルギー自動車車両購入税の免税に関する公告』	『国家重点研究開発計画新エネルギー自動車重点特別事業実施案』	『自動車駆動用バッテリー業界規範条件』
『電気自動車充電インフラ発展ガイドライン(2015-2020年)』	『省エネ・新エネルギー使用車と船の車両船舶税優遇政策に関する通知』	『製造業の核心的競争力を増強する重大事業パッケージの実施に関する通知』	『省エネ・新エネルギー自動車の普及応用の安全上の危険の徹底調査と管理業務の展開に関する通知』
『新エネルギー自動車普及応用の加速に関する指導意見』	『電気自動車の電力使用価格政策の関連問題に関する通知』	『製造業の高度化・改造の重大事業パッケージの実施に関する通知』	『電気自動車充電インフラ安全特別事業の検査の展開に関する通知』
『電気自動車充電インフラ建設の加速に関する指導意見』			『新規電気自動車・乗用車企業管理規定』
『中国製造2025』			『電気自動車遠距離サービスと管理システム技術規範』
『省エネ・新エネルギー自動車技術ロードマップ』			



# 中国新エネルギー自動車産業の現状—政策体系(マクロ政策)

- 『省エネ・新エネルギー自動車発展計画(2012-2020年)』は新エネルギー自動車の発展目標を明確にした
- 『中国製造2025』は省エネ・新エネルギー自動車、インテリジェント・コネクテッド・ビークルが自動車工業の転換・高度化の主要方向であることをはっきりと示した
- 『省エネ・新エネルギー自動車技術ロードマップ』は『中国製造2025』の技術面での実施を推進

## 『省エネ・新エネルギー自動車産業発展計画(2012-2020年)』

- 2020年までに、電気自動車とプラグインハイブリッド自動車の生産能力が200万台に達し、累計生産販売台数が500万台を超える
- 燃料電池自動車、自動車用水素エネルギー産業の世界との同時発展を実現する

## 『中国製造2025』

- 電気自動車、燃料電池自動車の発展を引き続き支援し、自動車低炭素、情報化、スマート化コア技術を確立する
- 主要部品から完成車までの完全な工業体系を形成し、自主ブランドの省エネ・新エネルギー自動車と国際的な先進水準のリンクを推し進める

## 『省エネ・新エネルギー自動車技術ロードマップ』

- 新エネルギー自動車とインテリジェント・コネクテッド・ビークルを主要突破口とし、エネルギー動力システムの最適化・高度化と転換を重点とする
- スマート化水準の向上を主軸とし、先進的製造と軽量化などの基盤技術を柱とする



# 中国新エネルギー自動車産業の現状—政策体系(財政・税務政策)

- ここ数年、中国は財政・税務補助、税制上の優遇などの政策で新エネルギー自動車産業の過渡産業の創成期を支援し、著しい効果を上げている

## 『2016-2020年新エネルギー自動車普及応用に関する財政・税務支援政策』

- 全国規模で新エネルギー自動車の普及応用業務を展開することを明確化
- 燃料電池自動車を除く、その他の新エネルギー車種の2017-2018年の補助基準は2016年から20%下げ、2019-2020年補助基準は2016年から40%下げる

## 『「十三五」新エネルギー自動車充電施設奨励政策及び新エネルギー自動車普及応用の強化に関する通知』

- 充電インフラを整備し、新エネルギー自動車の普及応用規模が比較的大きく、市場を公平に開放した省(区、市)に奨励資金を割り振る

## 『新エネルギー自動車車両購入税の免税に関する公告』

- 購入した新エネルギー自動車について車両購入税を免税する
- 購入税を免除する新エネルギー自動車は中国国内で販売(輸入を含む)を許可された電気、プラグイン式及び燃料電池の三車種を含む



# 中国新エネルギー自動車産業の現状—政策体系(研究開発支援)

- 中国は新エネルギー自動車、動力電池などを優先発展産業にし、政策または研究開発事業の支援を通じて主要基盤技術及び産業化水準の向上を促進

## 『国家重点研究開発計画新エネルギー自動車重点特別事業実施案』

- 電気自動車の電化、軽量化、スマート化、ネット接続化水準を向上し、小型電気乗用車の技術水準を世界の先端に到達させる
- 中国の特色ある電気自動車の主流技術路線、世界トップの有名ブランドと主力車種を形成する

## 『製造業の核心的競争力を増強する重大事業パッケージの実施に関する通知』

- 新エネルギー自動車の制御システム、ボディと構造軽量化水準、プラグイン式ハイブリッドシステム及び先進的動力電池及びシステム集約産業化水準を向上する

## 『産業主要基盤技術発展ガイドライン(2015年)』

- リチウムイオン電池及び新エネルギー自動車優先発展の産業主要基盤技術に盛り込まれる

## 『製造業の高度化・改造の重大事業パッケージの実施に関する通知』

- 社会資本の重大事業へ関与を奨励し、新エネルギー自動車がハイエンド装備発展事業の重要な一環に盛り込まれる。



# 中国新エネルギー自動車産業の現状—政策体系(管理体系)

- 中国は比較的整備された新エネルギー自動車産業管理政策体系を確立し、生産参入、企業クラスの商品管理及び回収処理などの各過程を網羅している

## 『新規電気乗用車企業管理規定』

- 申告企業の基本条件、投資事業の基本要件と許可プロセスを打ち出す。その目的は電気乗用車コア技術、技術イノベーション能力を有する企業と社会資本の競争参加を支援、確立することである、

## 『自動車駆動用バッテリー業界規範条件』

- 自動車動力電池業界を規範化し、企業の最適化と強化を奨励し、公告管理を実行し、その健全な発展を導く

## 『電気自動車遠距離サービスと管理システム技術規範』

- 電気自動車遠距離サービスと管理システムの全体構造と機能を規定し、公共プラットフォーム、企業プラットフォームと車載端末の関係を定義した

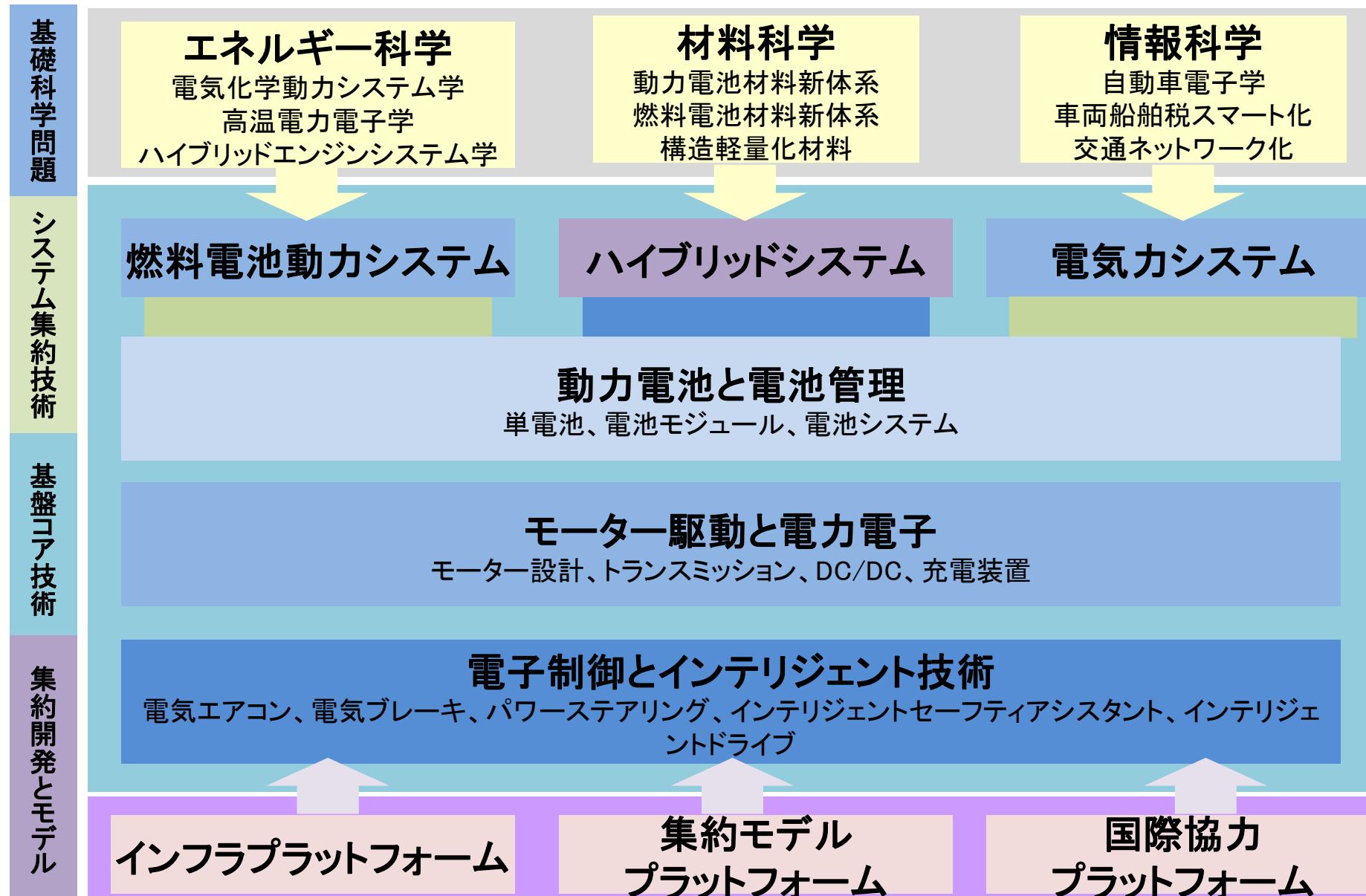
## 『電気自動車駆動用バッテリー回収利用技術政策』

- 「責任主体」及び生産者責任の拡大制度を明確化し、動力電池コード制度及びトレーサビリティ体系を確立する



# 中国新エネルギー自動車産業の現状—研究開発体系

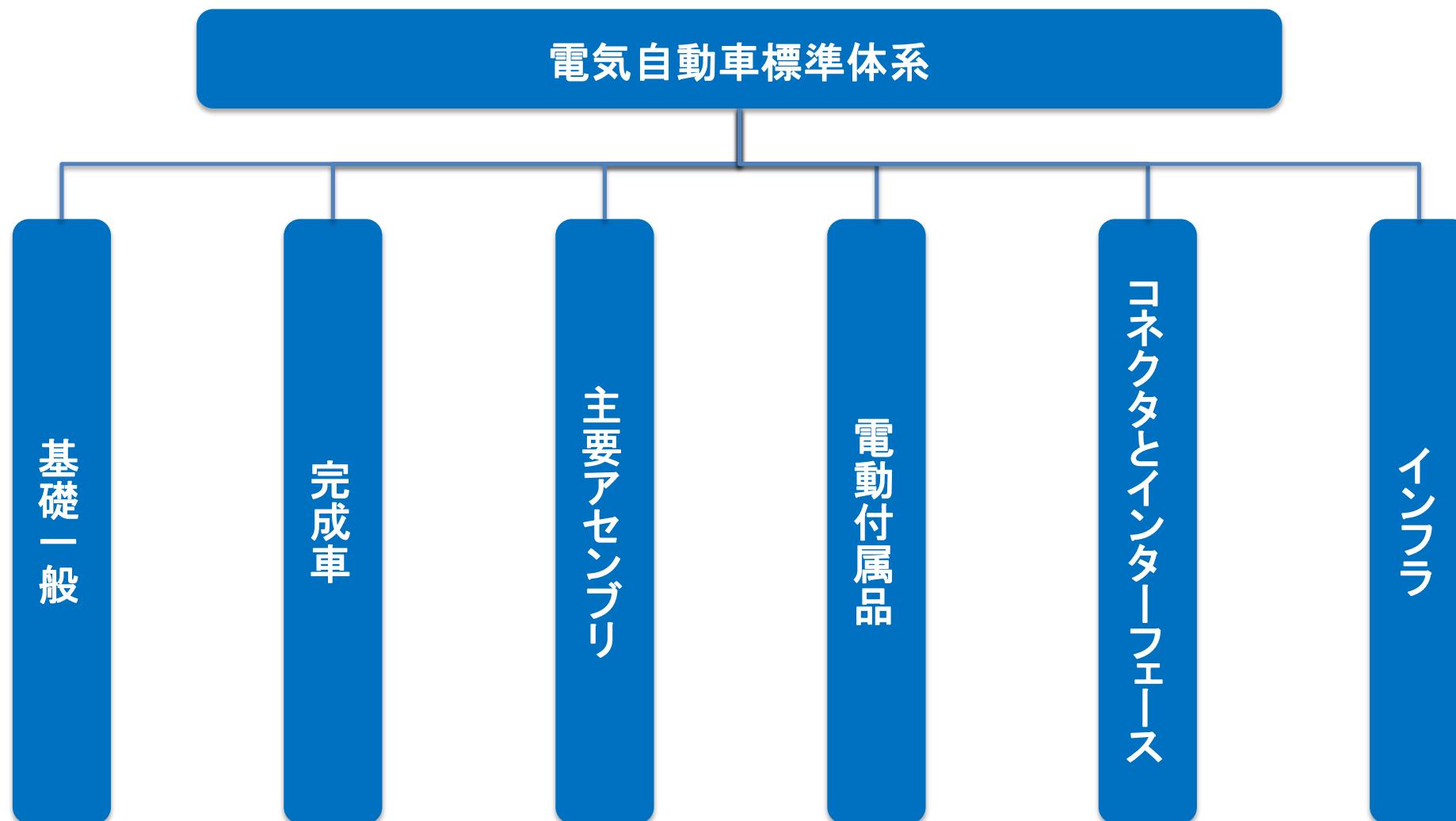
- 電気、プラグイン/レンジエクステンダー式ハイブリッド、燃料電池技術イノベーションの三つの主軸を確立し、基礎科学から集約モデルまでの全チェーンでのイノベーションを実現した。





# 中国新エネルギー自動車産業の現状—標準体系

- 2016年10月時点で、中国では電気車両船舶税標準72項目、充電インフラ標準29項目を含む電気自動車標準101項目を打ち出している。また承認待ち標準が13項目、研究中の標準が25項目ある
- 現在ある標準は基本的に政府部門の新エネルギー自動車に対する管理ニーズを満たし、業界の電気自動車の技術研究、製品開発、産業化及び商業科化に対する運用ニーズを満たしている。

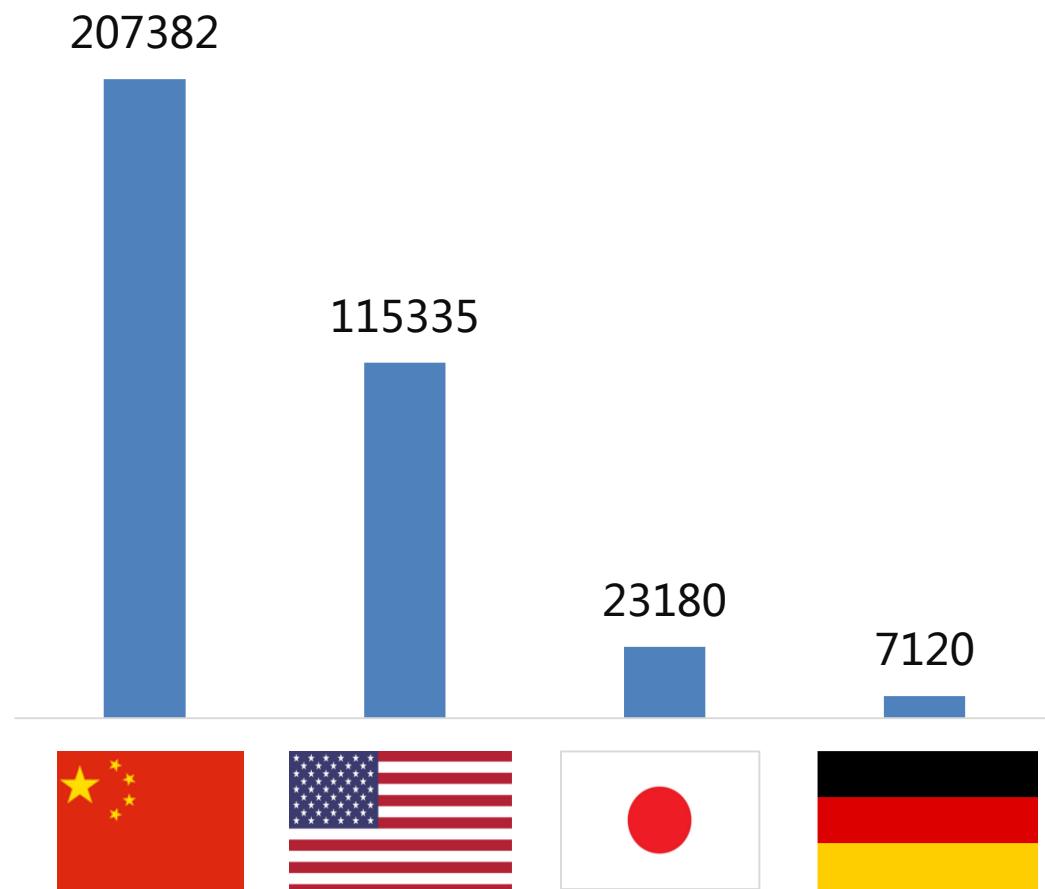




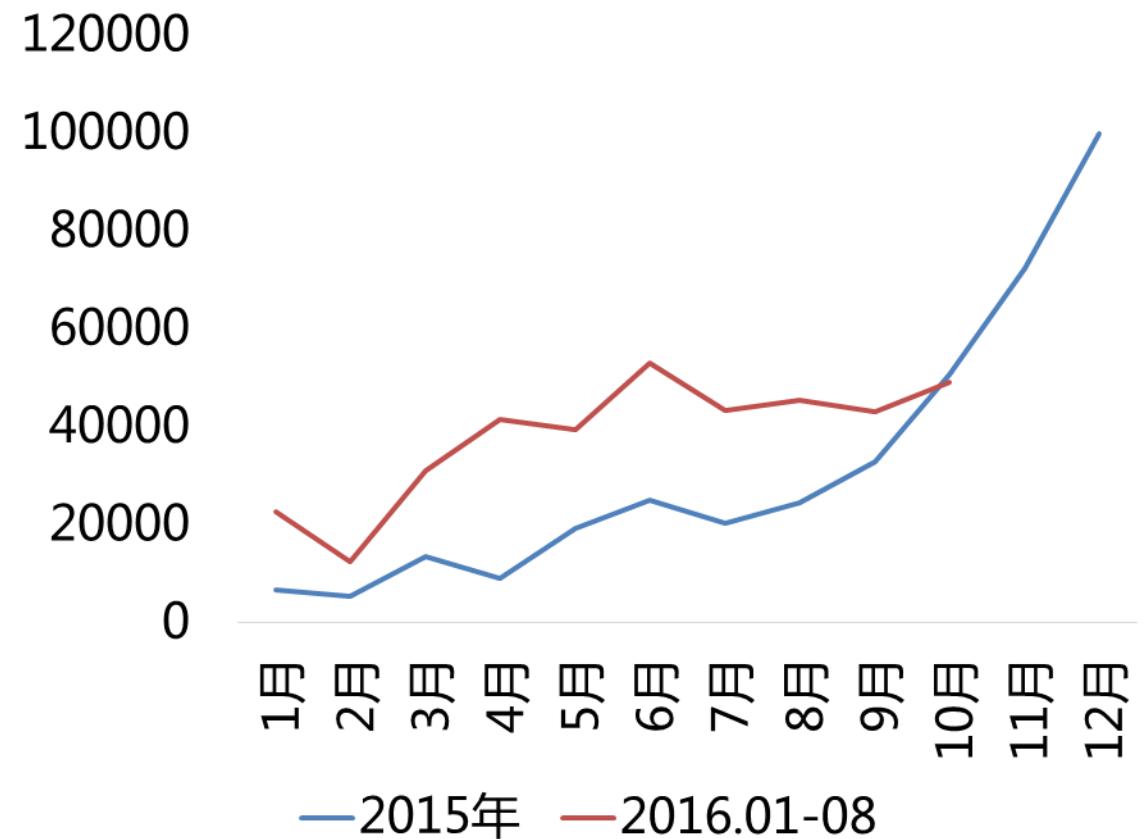
# 中国新エネルギー自動車産業の現状—普及応用

- 2015年、中国の新エネルギー自動車総販売台数は約33万台である。そのうち乗用車の販売台数は約21万台で、全球最大の新エネルギー自動車市場となった
- 2016年は急速な成長を維持し、1-10月の新エネルギー自動車生産台数は約35.5万台、販売台数は約33.7万台で、前年同期比98%以上増加している。

### 2015年各国新エネルギー乗用車販売状況(台)



### 中国新エネルギー自動車生産台数状況(台)





# 中国新エネルギー自動車産業の現状—普及応用

- 新エネルギー自動車の普及分野は広範囲に及び、個人分野及びバス、レンタル、タクシー、公務などの公共分野を網羅している
- 普及台数分布から、2015年12月末時点で、新エネルギー自動車は、個人分野と公共分野の比率はそれぞれ36%と64%である。

## 普及車種及び台数分布

### 自家用車/公務車



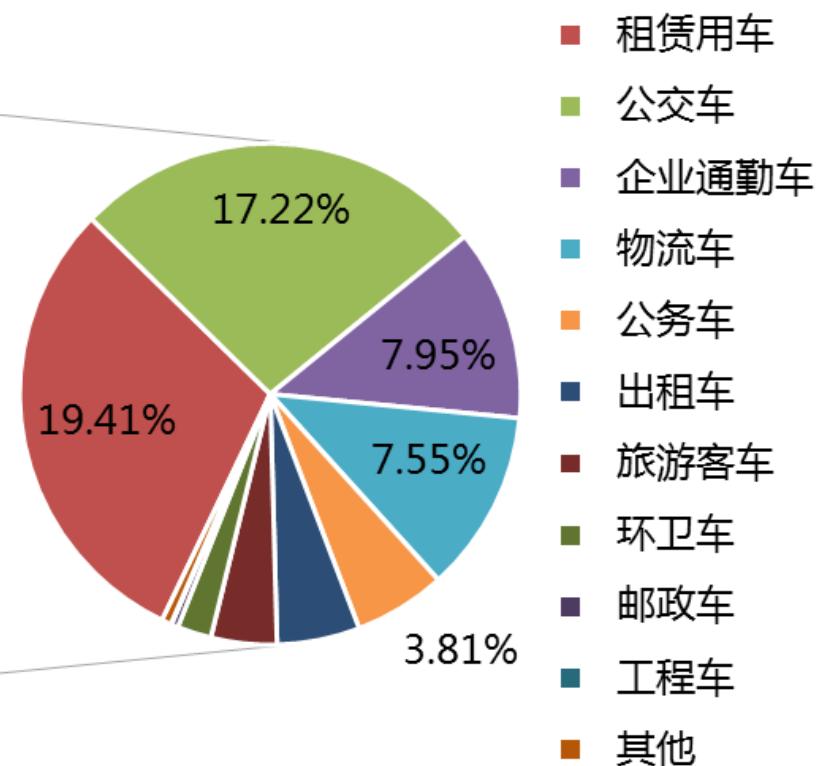
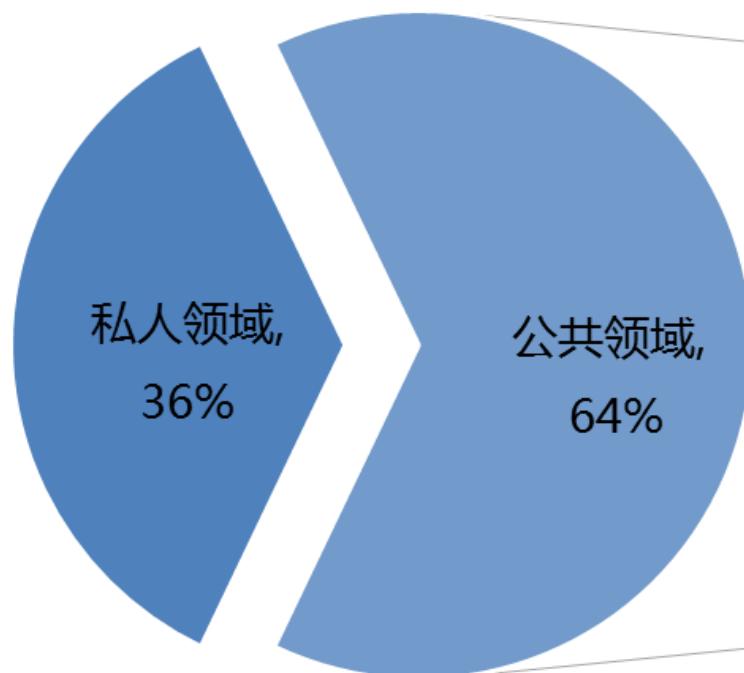
### 都市バス/タクシー



### 観光遊覧車/特種車



### ゴミ清掃車/物流車



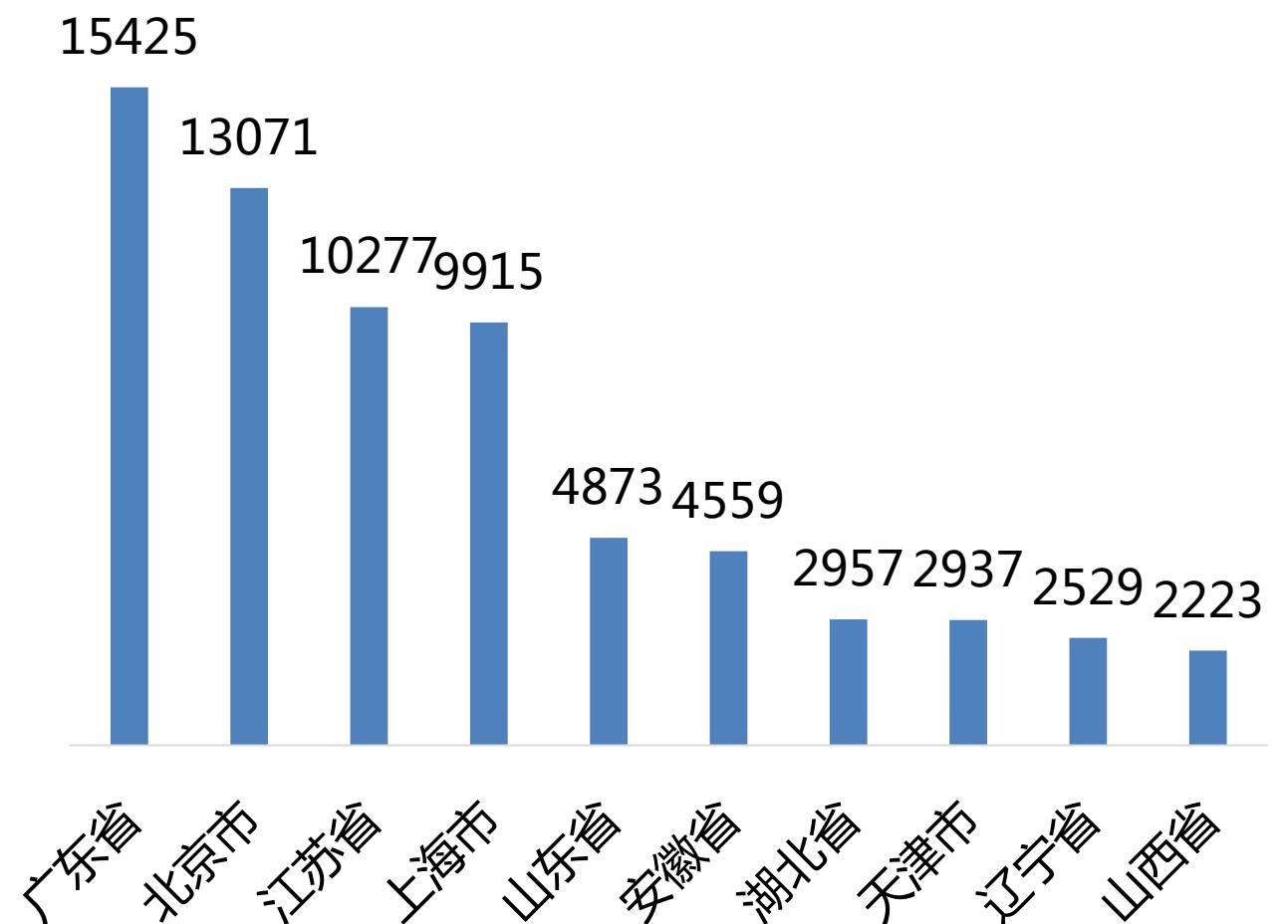
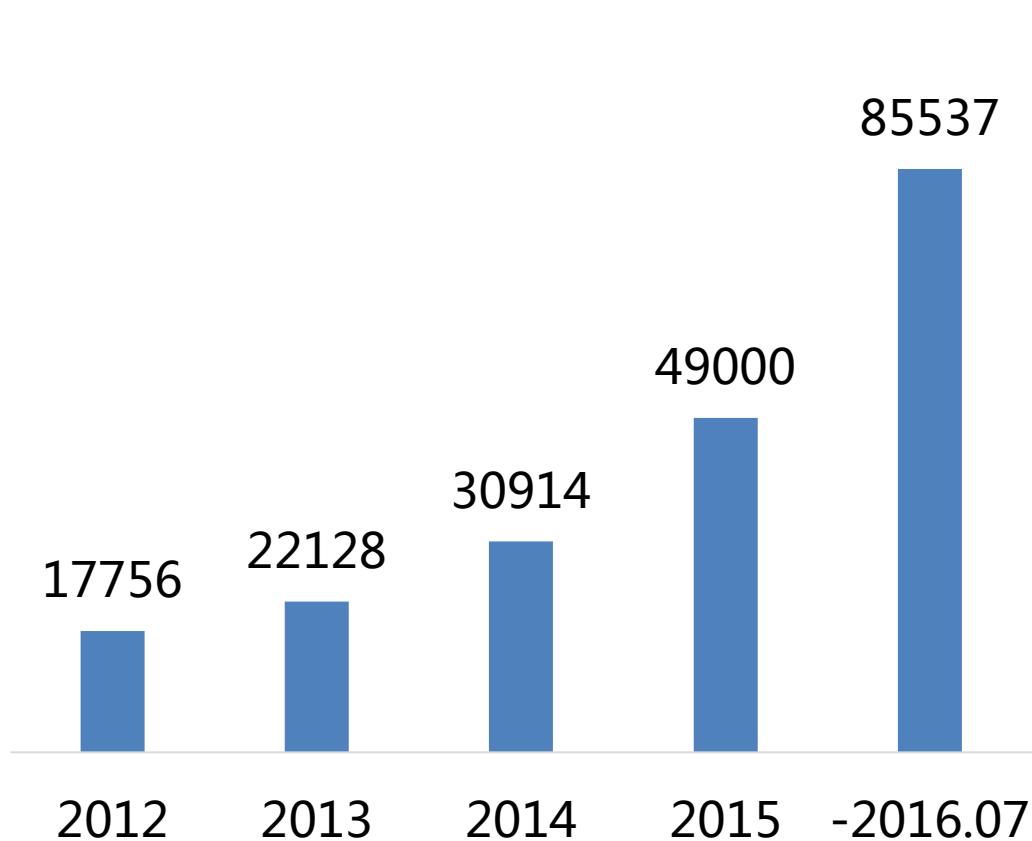


# 中国新エネルギー自動車産業の現状—インフラ

- 2016年7月時点で、全国に公共充電ポストが85537箇所、個人充電ポストが55376箇所設置されている
- 中国充電インフラ発展目標は、2020年までに集中バッテリー充電交換ステーション1.2万箇所、充電ポスト480万箇所を建設することである。

全国充電ポスト建設累計数量(箇所)

各地方省市公共充電ポスト建設数量(箇所)

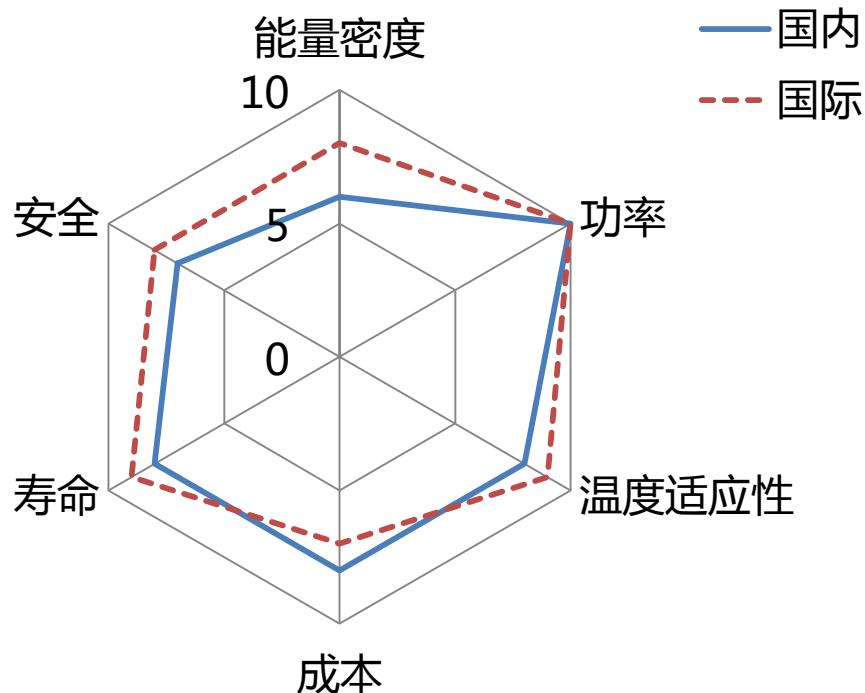




# 中国新エネルギー自動車産業の現状—技術進展

- 電気乗用車の全体技術水準は国際的な先進水準に近づき、航続距離、信頼性、安全性水準も絶えず向上し、エネルギー効率水準は持続して最適化している
- 電気公共バスの全体技術水準は国際的な先進水準に達し、多様なエネルギー供給技術は独自の特色である
- 動力電池材料、電池研究開発、製造などの一部コア技術を確立し、電池エネルギー密度は著しく向上した
- 構造集約技術を採用し、モーターとトランスミッションの機械、電磁、熱の一体化設計と応用を実現した。

### 国内外動力電池技術差





1

發展背景

---

2

産業の現状

---

3

發展情勢

---



# 中国新エネルギー自動車産業発展情勢—政策面

## • 引き続き新エネルギー自動車政策体系を整備する

- 投資改革を深化し、新エネルギー自動車投資事業管理政策を整備して実行に移し、優位企業の大いなる発展と強化を誘導する
- 制度イノベーションを強化し、新エネルギー自動車炭素割当管理政策を実施し、市場化、法制化した長期体制を確立する
- 戦略的誘導を強化し、産業の最適化・高度化、技術水準の大幅向上を推進し、産業の持続可能な発展を促進する
- 事中・事後の監督管理を強化し、企業及び製品撤退体制を確立し、弱いものが負けて強いものだけが勝ち残るようにし、業界発展を規範化する

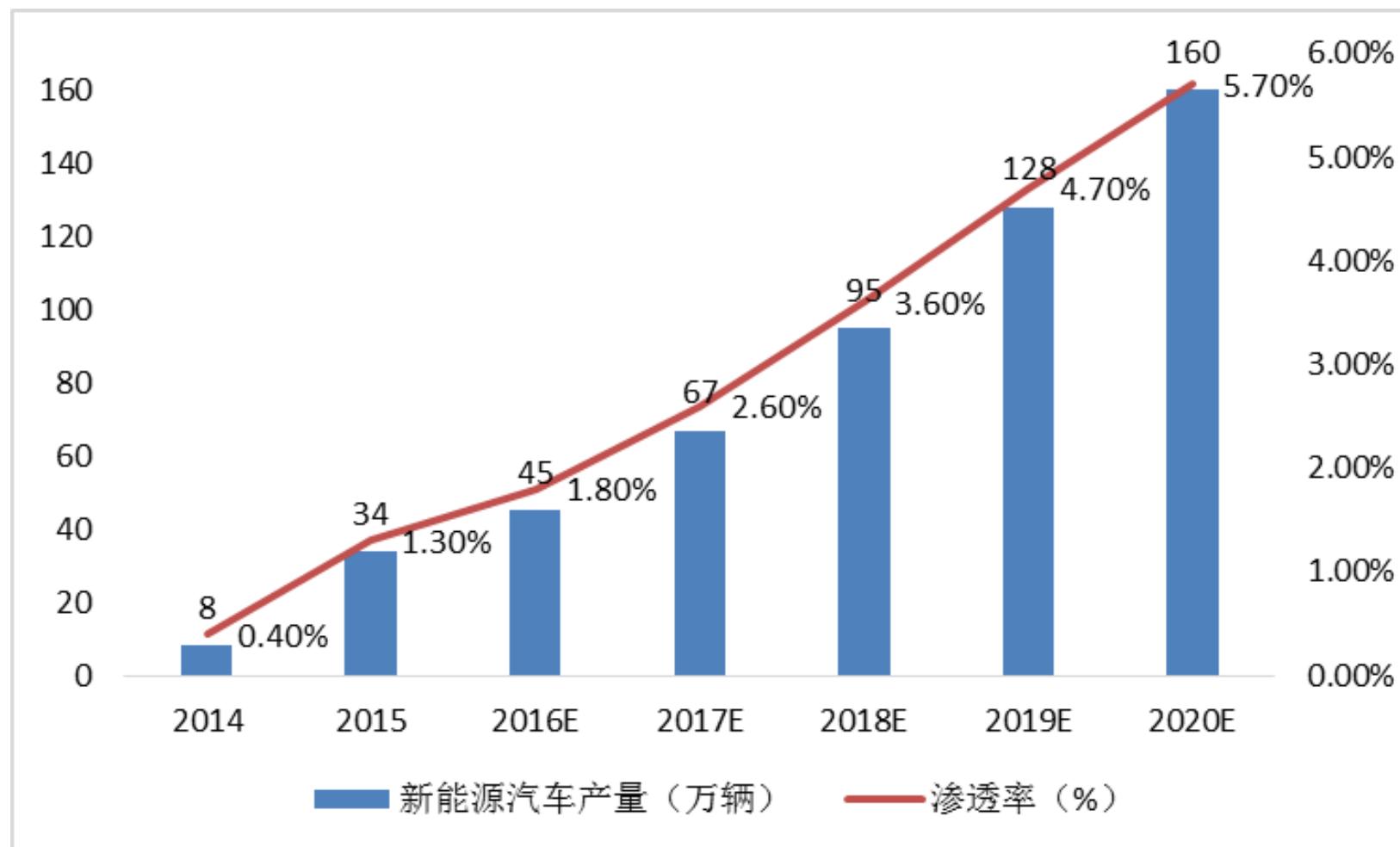




# 中国新エネルギー自動車産業発展情勢—市場面

- 政策体系の整備に、技術水準の向上、消費者の受入度のアップ及び充電インフラの整備に伴い、今後、中国の新エネルギー自動車市場は成長傾向を維持し、政策と市場の二重の働きのもと、中国は2020年産業既定発展目標を達成する。

中国新エネルギー自動車生産台数  
及び浸透率予測



**ご清聴、ありがとうございました**  
**Thanks !**